

## 今号の作業

# シートを取り付ける

今号では、76号で取り付けした「シート裏パネル」に「シート」を取り付ける。このシートは実車と同じ本革製で、後方がせり上がった特有の形状を忠実に再現している。リアルな質感とフォルムを楽しみながら、組み立て作業に取り組んでもらいたい。

### 今号のパーツ

①シート×1



#### 用意するもの

・メインフレーム(76号で組み立てたもの)

※モデルの設計上、パーツの形状が実車とは異なる場合があります。  
※「組み立てガイド」で紹介しているパーツは実際に付属するパーツと一部仕様異なる場合があります。

#### 使用する工具

・特になし

#### あると便利な道具

・+(プラス)ドライバー(1番)

STEP  
1



①シートを用意し、その形状を確認しよう。下側の縁にはメッキ処理されたモールが、中央部にはタンデムシート用ベルトが取り付けられている。後方に向かってせり上がった特有のダックテール形状が魅力だ。

STEP  
2



76号で組み立てたメインフレームを用意し、76号で取り付けしたシート裏パネルの形状を確認しよう。写真で示した位置に、シートを取り付けるためのポストが4本設けられており、その中央部には取り付けピンを差し込む穴が開けられている。

STEP  
3



次にシートを裏返して、取り付け部を確認する。写真で示した位置に4本の取り付けピンがあり、これをシート裏パネルの取り付けポストに差し込む。



シート内側の縁部分には、シート裏パネルが奥に入り込み過ぎないよう、数カ所のストッパーが設けられている。シート裏パネルはこの部分まではめ込まれることになる。



手元にメインフレームとシートを用意し、シート裏パネルを少しだけ持ち上げた状態にしてからシートをセットする。取り付けピンとポストの位置をしっかりと合わせよう。



シートとシート裏パネルの取り付け位置を合わせたら、少しずつ差し込んでいく。作業中は取り付けピンとポストが見えなくなるので、事前にしっかりと位置を合わせ、差し込む感触を確認しながら作業を進めよう。



シートに対してシート裏パネルが平行に差し込まれたら、シート裏パネルの裏側を指先で押してしっかりとめ込む。このとき、強く押し込み過ぎるとパネルがゆがみ、ストッパーよりも奥に入り込んでしまうことがあるので注意しよう。



シートを取り付けたら、いったん閉じて、取り付け具合を確認する。もしガタガタと大きく動くようであれば、シート裏パネルを固定しているビスが緩んでいるので、76号の組み立てガイドの⑨、⑩に従って1番のプラスドライバーで調整する。反対に、シートがしっかりと閉じない場合はビスを緩めて調整する。



シートの取り付けが完了したら、スムーズに開閉するか確認しよう。シートを開いたとき、シートの後方がメインフレーム右側面のオイルタンクカバーの上部(キャップの部分)に干渉するので、まずシート後方を上に少し引き上げてから開くようにする。



シートを開いた状態を後方から見たところ。シートの開度は写真のように60度程度になる。それ以上開くとヒンジを傷めてしまうので注意しよう。

今号の完成



これで今回の作業は完了だ。本革製のシートも装着され、ほぼ完成に近い状態となった。なお、電池ボックスカバーに貼ったテープだが、カバーの脱着を容易にするためのものなので、目立たないようにシート底に隠すか、はがしてしまっても構わない。